

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



# 歩行者の交通事故発生状況

## 令和8年1月末

### 1 歩行者事故の発生状況

令和8年1月末現在の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して、発生件数及び死傷者数とも増加しています。

なお、死亡事故は3件3人発生し、前年比+1件+1人となっています。

【歩行者事故の発生状況】

(令和8年1月末速報値)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	58	3	3	10	45	55
前年	52	2	2	16	35	51
増減数	6	1	1	-6	10	4
増減率	11.5	50.0	50.0	-37.5	28.6	7.8

【歩行者の交通死亡事故発生状況】

(令和8年1月末速報値)

No.	発生年月日等								第1当事者		事故類型	死者 高齢者	
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	高齢者			車種
1	8	1	15	18	木	夜	雨	大崎市田尻沼部	市道	-	普乗	横断中	-
2	8	1	16	4	金	夜	雨	大崎市岩出山下野目	市道	-	大貨	路上停止	-
3	8	1	27	0	火	夜	晴	栗原市清水	高速道	-	普乗	路上停止	◎

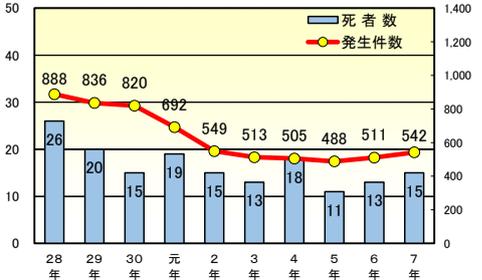
### 2 歩行者事故の発生推移

(基礎データ平成28年～令和7年)

平成28年以降、歩行者事故の発生件数は減少傾向にあり、令和5年に発生件数及び死者数が統計が残る昭和41年以降で最少となりましたが、令和6年から増加傾向に転じました。

また、全人身交通事故が10年間で53.3%減少(平成28年7,986件→令和7年3,730件。-4,256件)したのに対し、歩行者事故は39.0%の減少(平成28年888件→令和7年542件。-346件)にとどまりました。

【歩行者事故の推移】



区分	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
発生件数	888	836	820	692	549	513	505	488	511	542
死者数	26	20	15	19	15	13	18	11	13	15
うち高齢者	12	13	9	10	9	11	10	4	9	10
負傷者	889	832	832	693	553	513	496	489	507	539

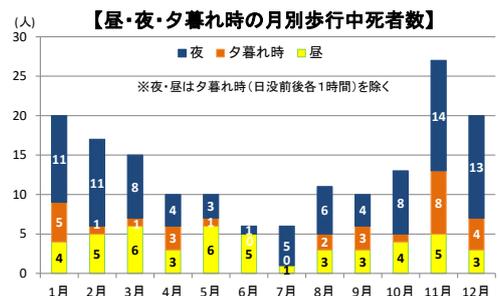
### 3 過去10年間の歩行中死者の月別発生状況

(平成28年～令和7年)

歩行中の交通事故死者数を月別に見ると、11月及び12月が特に多くなっています。

昼夜別では、冬季には夜間の事故が多発しており、秋から冬にかけては夕暮れ時の事故も多くなっています。

【昼・夜・夕暮れ時の月別歩行中死者数】



※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

#### 4 歩行者事故の発生特徴等 (令和7年中)

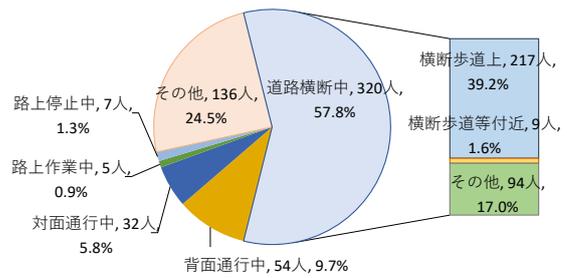
##### (1) 約6割が道路横断中の事故

死傷者の約6割(554人中320人、57.8%)が道路横断中の事故となりました。

内訳は、横断歩道上が217人と最も多く、横断歩道等付近が9人、その他横断が94人となりました。

横断中に直進車両(一般原付以上)と衝突した事故について、夜間帯に発生した重傷以上の死傷者数は、約8割(25人中19人、76.0%)が左からの車両との衝突となっています。

【歩行者の状態別死傷者】



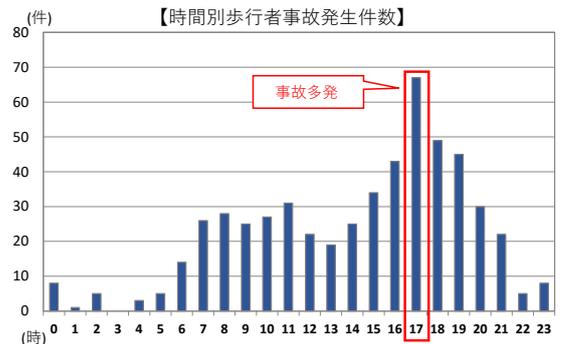
【横断中事故の車両(前方直進)の進行方向】(人)

負傷の程度	右からの車両		左からの車両	
	昼	夜	昼	夜
死亡	2	0	0	4
重傷	12	6	10	15
軽傷	18	9	20	15
総計	32	15	30	34

##### (2) 17時台の発生が多い

発生時間別では、17時台に多く発生(542件中67件、12.4%)しました。

昼夜別では、5割以上(542件中296件、54.6%)が昼間に発生し、死傷者数は、昼が305人、夜が249人となりました。



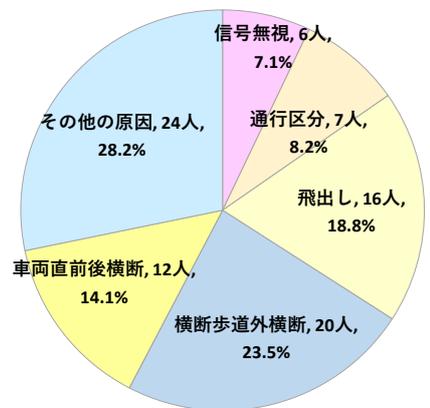
##### (3) 歩行中死傷者の約2割に違反あり

歩行中死傷者の約2割(554人中85人、15.3%)には何らかの違反が認められ、横断歩道外横断が20人、飛出しが16人の順で多くなりました。

違反が認められた歩行中死傷者の4割(85人中34人、40.0%)は重傷以上となりました。

一方、違反がなかった歩行中死傷者では、重傷以上が約3割(469人中132人、28.1%)で、違反が認められた歩行者を11.9ポイント下回りました。

【歩行者側の原因】

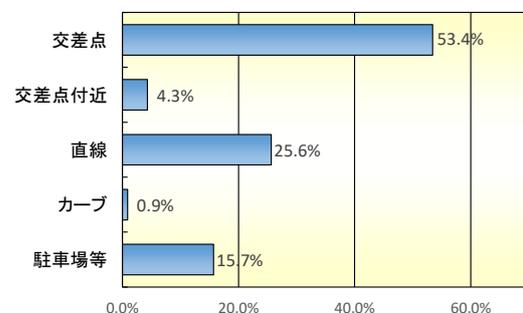


##### (4) 交差点での発生が約5割

道路形状別では、交差点で発生した死傷者が約5割(554人中296人、53.4%)を占めました。

また、交差点に次いで直線(142人、25.6%)、駐車場等(87人、15.7%)の順で多くなりました。

【道路形状別発生状況(構成率)】



##### (5) 学職別では高齢者が多い

死傷者の年齢別・学職別では、65歳以上の高齢者が多く、死傷者の約3割(554人中139人、25.1%)を占めました。

※学職別は主なものを抜粋

区分	計	年齢別										学職別				
		~14	15~19	20~24	25~29	30代	40代	50代	60代	70代	80~	未就学児	小学生	中学生	高校生	高齢者
死傷者数	554	50	34	41	32	56	74	89	68	50	60	6	26	21	20	139
死者数	15	1	0	1	0	1	0	1	1	3	7	0	0	1	0	10
負傷者数	539	49	34	40	32	55	74	88	67	47	53	6	26	20	20	129